

平成21年度

評価結果報告書

社会福祉法人愛児会

保育所 あゆみ幼稚園

社団法人全国保育士養成協議会

児童福祉施設福祉サービス第三者評価機関（HYK）

評 価 結 果

〔評価調査者・評価結果〕

1 特徴

<p>I</p>	<p>福祉サービスの基本方針と組織 理念・基本方針 施設長の責任とリーダーシップ</p>	<p>入園のしおりなどに、児童福祉の目的並びに保育所保育指針の考え方に基づく、法人の理念や保育理念・保育方針が明文化されている。法人の理念・保育理念・基本方針等を、非常勤保育士を含む全職員に配付するとともに、会議で説明するなどして確認・徹底を図っている。</p> <p>園長の役割と責任は、就業規則に明記されており、それを園長は職員会議等において全職員に表明し、定期的な面談を通じて一人一人に確認をするなど、その周知に努めている。</p>
<p>II</p>	<p>組織の運営管理 人材の確保・養成 地域や関係機関との連携</p>	<p>課題別に委員会（「危機管理」「第三者評価」「保育の質向上」「保健・環境」「研修・広報」「食の向上」）を組織し、全常勤職員が、いずれかの委員会活動に参加して、保育に関する諸課題に対応する体制の整備に努めている。各委員会は定期的に会議を開催し、活動の計画・実施・評価・点検等を行っている。</p> <p>各クラスに、「リーダー保育士」として比較的経験の少ない保育士を配置し、率先して保育を行うことができる環境を提供するとともに、経験豊かな保育士が「サポート保育士」として、側面からサポートする体制を整備している。職員の勤務等に対する意向は、面談を通じて定期的に把握し、必要に応じて改善する体制が整備されている。</p> <p>また、子育て支援センターを併設して、各種の子育て相談に応じたり、地域の子育て家庭のための定期的集会の開催や行事の機会に在園児の親子と交流する機会を設けたりするなど、積極的に子育て支援に取り組んでいる。</p> <p>保育の業務や管理を適切に行うために、保育業務支援ソフトを導入し、各クラスに配置された端末から利用者の状況、マニュアル、地域関係機関のリストなど、必要な情報へのアクセスを可能にすることによって、全職員が必要な情報を共有できるシステムを整備している。</p>
<p>III</p>	<p>適切なサービスの実施 利用者本位のサービス サービスの質の確保</p>	<p>園の情報は、玄関に園内の活動、感染症等の発症状況を掲示したり、園の資料とホームページをより分かりやすくするように努めている。たとえば、入園のしおりには、保育の理念・方針や園生活に必要な事項、費用等を項目別に分かりやすく説明している。利用者のプライバシー保護に関する仕組みや個人情報の管理に関する規程及び情報公開・開示に関する基本姿勢が、入園のしおりや掲示物を通じて、利用者にも分かりやすく伝える工夫がなされている。</p> <p>また、日常的な情報交換、連絡帳、定期的な懇談会の開催、アンケートの実施等を通じて、保護者からの意見の集約に努めるとともに、その結果を保育に反映する仕組みが整っている。</p> <p>職員からの提案は、その都度会議で検討し、評価、改善を行う仕組みが作られている。たとえば、保育の質の向上に関する課題には、「保育の質向上委員会」が中心となって検討し、公開保育を実施して園内研修をするなど、積極的な取り組みを行なっている。一人ひとりの子どもについては、発達経過記録を作成し、子どもの育ちや保育の過程を丁寧に記録している。記録類は、事務室に保管されて、必要な場合は職員間で情報を共有することができるようにするとともに、大きな変化が見られるときには職員会議で報告をするなど、情報の共有をより深めるよう努めている。</p>

<p>IV</p>	<p>子どもの発達援助 子どもの発達援助の基本 健康管理・食事 保育環境 保育内容</p>	<p>保育課程に基づいて長期・短期の指導計画を作成しており、個別の経過記録と関連づけながら、定期的に評価・改善を行っている。</p> <p>食育計画を作成し、保育の計画に合わせて行事食や栽培等の活動を積極的に行うとともに、食の向上委員会において計画と評価・反省を行っている。子どもの喫食状況は適切に記録され、会議において分析と対応方針が検討されている。</p> <p>一人一人の子どもが落ち着いてくつろげる屋内の空間と、豊かな自然の中で十分に活動できる屋外の空間が確保されており、子どもが心地よく生活するための環境が整備されている。また、子どもの発達段階に即した玩具や、好きな遊びができるコーナーが用意されており、子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。受容と尊重という保育方針に基づき、保育士は子どもの権利や互いを尊重する心の育成に取り組んでおり、子ども一人一人の状況に応じてやさしく丁寧に対応し、個別の生活リズムや状況にもよく配慮をしている。さらに、乳児保育のための安全で衛生的な環境やくつろいだ雰囲気の中で、落ち着いた生活ができるよう、職員同士や家庭と連携をとりながら保育を行っている。</p> <p>同年齢の子ども及び異年齢、さらには学童の子どもとふれあうなど、さまざまな人間関係を経験する機会があり、保育士は子ども同士の思いやりや互いに支えあう気持ちが育つよう援助をしている。</p>
<p>V</p>	<p>子育て支援 入所児童の保護者の育児支援</p>	<p>家庭の状況や保護者との情報交換を、送迎時のコミュニケーションに加えて、連絡帳を使って行っている。保護者参観や懇談会、運動会の行事の機会を生かして、保護者同士の交流を促している。</p> <p>保護者に育児不安等が見られた場合に、ケースワーカーと連携したり、担任から経験のある保育士や園長に報告・相談ができる仕組みが作られており、組織として援助できる体制が整っている。また、虐待等、不適切な養育を早期に発見するためのマニュアルが整備され、関係機関の連絡先一覧を用意するとともに、対応についてわかりやすくフローチャート化するなどの工夫が見られる。</p>
<p>VI</p>	<p>安全・事故防止 安全・事故防止</p>	<p>調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づき適切に実施されている。たとえば、食中毒発生時の対応について、必要に応じ各クラスへ注意喚起の呼びかけが行われ、全職員で意識の共有が図られるなど徹底している。また、事故、災害の発生時には対応できる各種計画・マニュアルが整備され、安全チェックリストに基づき、事故防止に努めている。</p> <p>危機管理委員会はヒヤリハットを年2回集計するとともに、検討結果を職員会議で報告し、全職員で共有できるよう工夫をしている。さらに避難訓練では、3歳以上児と3歳未満児に分けて対応を検討し、具体的なねらいと内容を定めて実施するとともに、訓練の評価・反省を行っている。不審者への対応についても、訓練時に危機管理委員会が中心となり、マニュアルの確認、事後の話し合い、検討などを行っている。</p>

2 課題

保育の理念や基本方針を保護者に配付し、自園や行政のホームページにも掲載しており、地域の人々にも周知しようと努めているが、さらに関係機関への配付が望まれる。

保育の内容等については、園全体で取り組んだ自己評価の結果を公表する必要がある。

3 総合所見

保育理念に基づく保育の方針（「受容と尊重」「自己の発揮」「思いやり」「支え合い・感謝する」）が非常勤保育士を含む全職員に浸透している。保育士の子どもに接する姿勢は、おだやかで受容的である。子どもの自己決定を尊重し、様々な人とのふれあいを通して子ども同士の思いやりや互いに支えあう気持ちが育つよう、それぞれの場面に応じたきめ細やかな援助が行われている。また、食への興味・関心を高めるとともに、日々の生活の中で食事に対する感謝の心が育つように配慮している。

環境整備、衛生管理、安全・事故防止などに関するマニュアルが整備され、それに基づく点検・評価・見直し等が適切に実施されている。子どもたちは、清潔で心地よく過ごせる安全な環境のもと、身近な自然や地域社会との豊かなかかわりや、のびやかな表現活動を体験している。

職員参加の委員会体制による保育目標の点検・評価、保育業務支援ソフトの活用により、各種情報の共有がなされている。園の特徴として、比較的経験の少ない保育士にも「リーダー保育士」として主導的立場が与えられ、それを経験豊かな保育士が「サポート保育士」として支援する人材育成が行われている。

評価項目別	評価結果
-------	------

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

NO.	評価基準	評価結果	根拠となった資料名	評価の根拠	園の特徴
[1]	理念が明文化されている。	a	入園のしおり「あゆみの保育」	入園のしおり「あゆみの保育」に児童福祉の理念や保育所保育指針に基づいた法人の理念および保育理念・保育方針が明文化されている。	
	a 法人の理念、保育理念を明文化しており、保育所の使命・役割が具体的に示されている。				
	b 法人の理念、保育理念を明文化しているが、保育所の使命・役割が具体的に示されていない。				
	c 法人の理念、保育理念を明文化していない。				
[2]	理念や基本方針が職員に周知されている。	a	職員会議録 ヒアリング 入園のしおり「あゆみの保育」	法人の理念・保育理念・基本方針を全職員に配付し、年度当初の職員会議で説明して周知を図っている。	
	a 法人の理念、保育理念や基本方針を職員に配付するとともに、十分な理解を促すための取り組みを行っている。				
	b 法人の理念、保育理念や基本方針を職員に配付しているが、理解を促すための取り組みが十分ではない。				
	c 法人の理念、保育理念や基本方針を職員に配付していない。				
[3]	理念や基本方針が利用者等に周知されている。	b	ヒアリング	入園のしおり「あゆみの保育」を保護者に配付し、入園・進級式において園長から保護者に説明をしている。また、ホームページにも掲載されており、地域の人々にも周知しようと努めている。しかし、地域や関係機関への周知や配付、理解を促す取り組みは十分とはいえない。	
	a 法人の理念、保育理念や基本方針を保護者や地域の住民、関係機関等に周知するとともに、十分な理解を促すための取り組みを行っている。				
	b 法人の理念、保育理念や基本方針を保護者や地域の住民、関係機関等に周知しているが、理解を促すための取り組みが十分ではない。				
	c 法人の理念、保育理念や基本方針を保護者や地域の住民、関係機関等に周知していない。				

I-2 施設長の責任とリーダーシップ

NO.	評価基準	評価結果	根拠となった資料名	評価の根拠	園の特徴
[4]	施設長自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a	職員会議事録 職員との面談記録 ヒアリング 就業規則	園長は職員会議等において自らの役割と責任を職員に表明しており、その具体的な内容は就業規則に定められている。また、年2回行われる職員との面談においても確認し、理解を得よう努めている。	
	a 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにし、理解されるよう積極的に取り組んでいる。				
	b 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにしているが、十分に理解されるようには取り組んでいない。				
	c 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにしていない。				
[5]	遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	a	法令リスト 園長の研修記録 ヒアリング	遵守すべき法令がリスト化されており、必要に応じて見直しが行われている。リストは職員にも配付し、周知されている。園長が研修に参加した記録があり、積極的に法令等を理解しようとする姿勢が見られる。	
	a 施設長自ら、遵守すべき法令等を正しく理解するために積極的な取り組みを行っている。				
	b 施設長自ら、遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っているが、十分ではない。				
	c 施設長自ら、遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みは行っていない。				

II 組織の運営管理

II-1 人材の確保・養成

NO.	評価基準	評価結果	根拠となった資料名	評価の根拠	園の特徴
[6]	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a	職員との面談記録 あゆみ幼稚園委員会 構成 ヒアリング	面談を年2回実施し、職員の意向を確認する機会がある。また、面談時および日常的に保育士からの意見に対して、改善する仕組みが整えられている。就業状況の実態を把握するとともに、職員の健康診断を年2回行っている。	
	a 職員の就業状況や意向を定期的に把握し、改善する仕組みが構築されている。				
	b 職員の就業状況や意向を定期的に把握する仕組みはあるが、改善する仕組みの構築が十分ではない。				
	c 職員の就業状況や意向を把握する仕組みがない。				

NO.	評価基準	評価結果	根拠となった資料名	評価の根拠	園の特徴
[7]	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a	経営計画 ヒアリング	「経営計画」に「重点実施項目」として示されており、さらに研修公報委員会により、基本姿勢が明示されている。	
	a 組織として職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。				
	b 組織として職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されているが、具体的ではない。				
	c 組織として職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されていない。				
[8]	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	a	個別の研修計画	職員の研修に対する基本姿勢に基づき、一人一人の研修計画が作成されている。	
	a 職員一人一人について、基本姿勢に沿った教育・研修計画が策定され、計画に基づいた具体的な取り組みが行われている。				
	b 職員一人一人について、基本姿勢に沿った教育・研修計画が策定されているが、計画に基づいた具体的な取り組みが十分に行われていない。				
	c 職員一人一人について、基本姿勢に沿った教育・研修計画が策定されていない。				
[9]	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a	職員との面談の記録 外部研修のレポート ヒアリング	一人一人の研修計画に基づき、年2回行われる面談時に園長が本人と話し合いながら評価・見直しを行っている。外部研修については、その都度レポートを作成している。	
	a 研修成果の評価が定期的に行われるとともに、次の研修計画に反映されている。				
	b 研修成果の評価が定期的に行われているが、次の研修計画に反映されていない。				
	c 研修成果の評価が定期的に行われていない。				

NO.	評価基準	評価結果	根拠となった資料名	評価の根拠	園の特徴	
[10]	実習生の受入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	a	保育実習受け入れ対応マニュアル 職員会議事録	保育実習受け入れマニュアルを作成し、職員に配付、周知している。受け入れ窓口、事前オリエンテーション、実習中の指導及び事務処理、指導の計画等、詳しく定められている。実習生の受入れにあたっては職員会議で報告されており、その都度、意義、方針等を確認している。		
	総合判断基準					a 実習生を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、実習担当者も決められている。
	b 実習生を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解されているが、実習担当者が決められていない。					
	c 実習生を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解されていない。					
[11]	実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	b	養成校からの依頼状 関係書類 ヒアリング	保育実習受け入れ対応マニュアルにおいて、実習種別ごとの計画並びに指導の方法などが定められている。個々の実習生と話し合いを行っているが、実習生一人一人に対応した計画は作成されていない。		
	総合判断基準					a 実習生受け入れの際、実習の効果をあげる計画を用意する等、育成に取り組んでいる。
	b 実習生受け入れの際、実習の効果を上げるよう育成に取り組んでいるが、計画が十分でない。					
	c 実習生受け入れの際、実習の効果をあげる計画を用意する等の取り組みを行っていない。					

II-2 地域や関係機関との連携

NO.	評価基準	評価結果	根拠となった資料名	評価の根拠	園の特徴	
[12]	育児相談など地域の子育て家庭を対象とする子育て支援のための取り組みを行っている。	a	子育て相談カード 子育て支援センター だより「夢センターあゆみだより」 ヒアリング	子育て支援センターが併設され、連携した取り組みが行われている。子育て相談については専用の電話番号を地域に周知するとともに、相談内容は「子育て相談カード」に記録している。また、「子ども広場」や「青空保育」など地域の子育て家庭が定期的集まる機会や園の行事（「あゆみまつり」・運動会）に招待している。		
	総合判断基準					a 積極的に取り組みを行っている。
	b 取り組みを行っている。					
	c 取り組みを行っていない。					

NO.	評価基準	評価結果	根拠となった資料名	評価の根拠	園の特徴
[13]	一時保育は、一人一人の子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。				
総合判断基準	a 一時保育の内容や方法によく配慮している。	a	一時保育受け入れマニュアル 送迎時の観察 ヒアリング 観察	一時保育専用の部屋や担当者はないが、保育の実施にあたり保護者とのコミュニケーションを十分に取り、在園児とふれあいながら過ごすことができるように配慮している。	
	b 一時保育の内容や方法にどちらかといえば配慮している。				
	c 一時保育の内容や方法に配慮していない。				
判断基準	ア 一時保育のための環境に配慮している。	○	観察 ヒアリング	継続して同じクラスに入るようにしている。	
	イ 一時保育のための担当者が決められている。	—	ヒアリング	専任の担当者はいない。	
	ウ 一人一人の子どもの日々の状態を把握している。	○	観察	受け入れ時に、在園児同様、保護者との連携を密に行っている。	
	エ 一時保育の子どもと通常保育の子どもとの交流に配慮している。	○	観察	他の園児とふれあうように配慮している。	
	オ 保護者とのコミュニケーションを十分にとっている。	○	観察 連絡帳	複数回利用する子どもには、連絡帳を用意するとともに、送迎時に様子を伝えている。	
	カ 必要なケースについて相談に応じている。	○	ヒアリング	担任が窓口となり、サポート保育士が対応する仕組みが作られている。	
[14]	保育所の役割を果たすために必要な地域の関係機関などの情報を収集し、それを職員が共有している。				
総合判断基準	a 地域の関係機関についての情報を収集し、それを職員が共有している。	a	社会資源表 ヒアリング	種別ごとに「社会資源表」が用意され、マニュアルファイルに入れて職員に周知している。「研修・広報委員会」が中心となり、電話帳や日常保育に関連する施設などをリスト化している。	
	b 地域の関係機関についての情報を収集しているが、それを職員が共有していない。				
	c 地域の関係機関についての情報を収集していない				

NO.	評価基準	評価結果	根拠となった資料名	評価の根拠	園の特徴
[15]	子どもの健康状況について、医療機関などに相談や連携ができる体制になっている。	a	ヒアリング	<p>嘱託医から健康診断の結果についてアドバイスを得たり、感染症について情報交換や指導を受けるなどの連携をとっている。</p> <p>病気やけがの場合は、子どものかかりつけの医師による対応をしている。</p>	
	<p>a 子どもの健康状況について、医療機関などに相談や連携ができる体制が具体的に構築されている。</p>				
	<p>b 子どもの健康状況について、医療機関などに臨時相談等を行うことができる。</p>				
	<p>c 子どもの健康状況について、医療機関などに相談や連携ができる体制になっていない。</p>				
[16]	育児相談などに際して、児童相談所などの専門機関に相談や連携ができる体制になっている。	a	<p>虐待防止マニュアル 育児相談・連携マニュアル</p>	<p>要保護児童についての研修会に園長が参加したり、子育て支援センターの連絡会に参加したりすることを通して、関係機関とは常に連携をとっている。相談実績はないが、子育て支援センターなどに、特に虐待が疑われる場合は連携することをマニュアルに明記するなど、体制が整備されている。</p>	
	<p>a 育児相談などに際して、児童相談所などの専門機関に相談や連携ができる体制が具体的に構築されている。</p>				
	<p>b 育児相談などに際して、児童相談所などの専門機関に随時相談等を行うことができる。</p>				
	<p>c 育児相談などに際して、児童相談所などの専門機関に相談や連携ができる体制になっていない。</p>				
[17]	小学校との間で、小学生と園児とが行事等で交流する機会を設けており、職員間の話し合い、研修などの連携の機会がある。	a	<p>研修・広報委員会の議事録 計画表 ヒアリング 保育所児童保育要録</p>	<p>研修・広報委員会が中心となり、年間で計画を立てて小学校に連絡を取り、交流を実施している。小学校への保育士の授業参観、子ども同士の交流、研修や情報交換が行われている。</p>	
	<p>a 小学校との間で、小学生と園児とが行事等で交流する機会を設けており、職員間の話し合い、研修などの連携の機会がある。</p>				
	<p>b 小学校との間で、小学生と園児とが行事等で交流する機会を設けているが、職員間の話し合い、研修などの連携の機会がない。</p>				
	<p>c 小学校との間で、交流する機会がなく、職員間の話し合いなどの機会がない。</p>				

NO.	評価基準	評価結果	根拠となった資料名	評価の根拠	園の特徴	
[18]	近隣の人々に保育について理解を得たり、協力を依頼するなどの配慮をしている。	a	ヒアリング	運動会の音量について苦情の電話があったことがあり、練習の時期には事前にマンションの掲示板に貼ったり、隣接する家に個別に依頼文書を配付するようにしている。		
	総合判断基準					a 近隣の人々に保育について理解を得たり、協力を依頼するなどの配慮をしている。
	b 近隣の人々に保育について理解を得たり、協力を依頼するなどの特段の配慮をしていないが、日常的なコミュニケーションに努めている。					
	c 近隣の人々に保育について理解を得たり、協力を依頼するなどの配慮をしていない。					
[19]	民生・児童委員や自治会等の地域団体と連携した取り組みを行っている。	a	入園のしおり「あゆみの保育」保育課程	年間行事予定に地域交流の取り組みが定められており、運動会等の行事に老人会などが参加している。また、地域の行事に参加することが保育課程に位置付けられており、職員も参加して連携を図っている。		
	総合判断基準					a 民生・児童委員や自治会等の地域団体と連携した取り組みを行っている。
	b 民生・児童委員や自治会等の地域団体との連携が十分とはいえない。					
	c 民生・児童委員や自治会等の地域団体と連携した取り組みを行っていない。					
[20]	中高生などの保育体験を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、受け入れの担当者も決められている。	a	マニュアル 保育課程 ヒアリング	受け入れのマニュアルが整備され、参加者に対応した、ねらい、方針、内容が設定されている。また、担当者が定められており、保育課程にも受け入れについて記載されている。		
	総合判断基準					a 中高生などの保育体験を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、受け入れの担当者も決められている。
	b 中高生などの保育体験を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解されているが、受け入れの担当者が決められていない。					
	c 中高生などの保育体験を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解されていない。					

NO.	評価基準	評価結果	根拠となった資料名	評価の根拠	園の特徴
[21]	ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	ボランティア受け入れマニュアル	ボランティア受け入れについて定めたマニュアルが作成され、担当者も決まっている。マニュアルについては、全職員が理解している。	
	ボランティアを受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、受け入れの担当者も決められている。				
	ボランティアを受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解されているが、受け入れの担当者が決められていない。				
	ボランティアを受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解されていない。				

Ⅲ 適切なサービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位のサービス

NO.	評価基準	評価結果	根拠となった資料名	評価の根拠	園の特徴
[22]	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a	プライバシー保護マニュアル 個人情報保護の方針（「あゆみの保育」） ヒアリング	「あゆみの保育」に個人情報保護方針が記載されており、プライバシー保護マニュアルに職員の具体的な対応の仕方が記載されている。また、連絡ノートは、リュックやウオールポケットに入れるようにして、保護者がポケットを閉められるよう工夫したり、取り扱い方を職員会議で話し合ったりするなどしている。	
	子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備し、職員に周知するための取り組みを行っている。				
	子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備しているが、職員に周知する取り組みが十分ではない。				
	子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備していない。				
[23]	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	a	「あゆみ」4月号 入園のしおり「あゆみの保育」 各種行事のアンケート 保育参観(参加)・懇談会についてのアンケート 保護者懇談会の記録 年間行事予定表	クラス別の、保護者参観や懇談会を実施している。また、行事ごとに保護者にアンケートを実施し、日常の保育で気づいたことを含めて、意向を把握する仕組みがある。	
	保護者の意向に配慮する姿勢が明示され、意向を把握する具体的な仕組みを整備している。				
	保護者の意向に配慮する姿勢が明示されているが、意向を把握する具体的な仕組みが十分でない。				
	保護者の意向に配慮する姿勢が明示されていない。				

NO.	評価基準	評価結果	根拠となった資料名	評価の根拠	園の特徴	
[24]	利用者満足の上に向けた取り組みを行っている。	a	保護者懇談会アンケート集計結果ヒアリング	保護者へのアンケートの集計・分析を、「保育の質向上委員会」が中心となって行っている。内容によって急を要するものは、園長が判断し、その他のことについては職員会議で話し合うようにしている。話し合った内容は、アンケート集計結果とともに保護者に配布している。		
	総合判断基準					a 把握した保護者の意向の結果を活用するための仕組みが整備され、実際にその向上に向けた取り組みを行っている。
	b 把握した保護者の意向の結果を活用するための仕組みが整備されているが、その向上に向けた取り組みが十分ではない。					
	c 把握した保護者の意向の結果を活用するための仕組みが整備されていない。					
[25]	苦情解決の仕組みが十分に周知され、機能している。	a	入園のしおり「あゆみの保育」観察 苦情対応・解決マニュアル	入園のしおり「あゆみの保育」に仕組みが図示されるとともに、園の玄関にも掲示されている。結果の公表については、本人の意向を確認し、ホームページで行うようにしている。		
	総合判断基準					a 苦情解決の仕組みを保護者等に周知する取り組みが行われ、機能している。
	b 苦情解決の仕組みを保護者等に周知する取り組みが行われているが、機能していない。					
	c 苦情解決の仕組みを保護者等に周知する取り組みが行われていない。					
[26]	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a	苦情対応・解決マニュアル 育児相談・連携マニュアル 保護者対応マニュアル 連絡ノートマニュアル 連絡帳	マニュアルが整備されており、連絡帳などを中心に、保護者からの意見があった場合は、その都度誠実に対応している。		
	総合判断基準					a 保護者からの意見等に対する対応マニュアルを整備し、迅速に対応している。
	b 保護者からの意見等に対する対応マニュアルを整備しているが、迅速に対応していない。					
	c 保護者からの意見等に対する対応マニュアルを整備していない。					

Ⅲ-2 サービスの質の確保

NO.	評価基準	評価結果	根拠となった資料名	評価の根拠	園の特徴
[27]	保育の質の向上や改善のための取り組みを、職員参加により行っている。	a	職員会議議事録 各委員会議事録 21年度あゆみ幼稚園 委員会構成 面談の記録 ヒアリング	職員はそれぞれの委員会に所属し、担当する委員会で意見を出し、委員会の報告をもとに職員会議で検討し、実践・評価・改善を行う仕組みが作られている。特に保育の質の向上については、「保育の質向上委員会」を中心に活動し、たとえば公開保育を実施して園内研修をするなど、積極的な取り組みが行われている。	
	a 定例の会議を含め、年間を通じて職員から提案を募集するか、又は定期的に（年に複数回）意見を聞くための場を設け、保育の質の向上や改善のための取り組みを行っている。				
	b 定例の会議を含め、年間を通じて職員から提案を募集するか、又は定期的に（年に複数回）意見を聞くための場を設けているが、それを踏まえて保育の質の向上や改善のための取り組みを行っていない。				
	c 定例の会議を含め、保育の質の向上や改善に関し、職員からの意見を聞いていない。				
[28]	保育の質の向上を図るため、保育の内容等について定期的に自己評価を行い。その結果を公表している。	b	ヒアリング	第三者評価委員会が中心となり、保育の質向上委員会と連携しながら、利用者へのアンケート結果に基づく話し合いやマニュアルの検討を行っている。利用者アンケートの結果については、アンケートに基づいて話し合った今後の対応方針などが記載されている。園全体での自己評価に取り組んでいるが、その結果を外部には公表してはいない。	
	a 保育の計画の展開や保育士等の自己評価を踏まえ、保育の内容等について、自己評価を行い、その結果を公表している。				
	b 保育の計画の展開や保育士等の自己評価を踏まえ、保育の内容等について、自己評価を行っているが、その結果を公表していない。				
	c 自己評価を行っていない。				
[29]	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	a	発達経過記録 週案 土曜日保育日誌 ヒアリング	一人一人の子どもについての発達経過記録が作成され、月ごとに子どもの成長の様子や保育の過程が丁寧に記述されている。記録は事務室に保管されており、職員で情報を共有することができるようにし、大きな変化が見られる時には職員会議で報告をして、情報共有を確実にしている。	
	a 一人一人の子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化などに即して保育の過程を記録しており、それぞれの子どもに関する全職員に周知されている。				
	b 一人一人の子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化などに即して保育の過程を記録しているが、それぞれの子どもに関する全職員に十分に周知されていない。				
	c 一人一人の子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化などに即した保育の過程の記録が十分でない。				

NO.	評価基準	評価結果	根拠となった資料名	評価の根拠	園の特徴
[30]	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a	個人情報管理規程 情報公開・開示規程 ヒアリング	個人情報管理規程が定められており、園長が責任者となって管理している。情報開示については情報公開・開示規程が定められている。記録の管理等についての研修が行われている。	
	a 子どもに関する記録管理について規程が定められ、適切に管理されている。				
	b 子どもに関する記録管理について規程が定められ管理されているが、十分ではない。				
	c 子どもに関する記録管理について規程が定められていない。				
[31]	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a	職員会議議事録 保育の質向上委員会 議事録 ヒアリング	ケース会議は、職員会議の場において必ず行っている。時間を区切ってテーマを設定し、話し合っている。また、保育の質向上委員会を中心に公開保育を行い、保育実践についての話し合いを、年数回実施している。	
	a 一人一人の子どもの発達状況、保育目標、保育の実際について話し合うためのケース会議を定期的かつ必要に応じて開催している。				
	b 一人一人の子どもの発達状況、保育目標、保育の実際について話し合うためのケース会議を必要に応じて開催しているが、定期的には開催していない。				
	c 一人一人の子どもの発達状況、保育目標、保育の実際について話し合うためのケース会議を開催していない。				
[32]	情報提供に当たって、わかりやすく伝える工夫や配慮を行っている。	a	ホームページ作成資料 園のパンフレット ヒアリング	園の資料やホームページを、より分かりやすくするように変更している。特に工夫・配慮している点として、方針をもとに具体的な姿を写真で見られるようにすること、情報公開として財務、第三者評価、苦情解決の結果を見られるようにすること、園だよりや献立表をPDFで見られるようにするなど、改善を図っている。	
	a 情報提供をよく行っている。				
	b 情報提供をどちらかといえば行っている。				
	c 情報提供をほとんど行っていない。				

NO.	評価基準	評価結果	根拠となった資料名	評価の根拠	園の特徴
[33]	入所にあたり、利用者等にわかりやすく説明している。	a	入園のしおり「あゆみの保育」	入園のしおり「あゆみの保育」にて、理念・方針や、園生活に必要な事項、料金等を、項目別にわかりやすく説明している。	届出書類の書式をしおりに入れ、持ちものや行事予定等、以前別紙で渡していたものを一つにまとめることで保護者が参照しやすいよう工夫している。
総合判断基準	a 入所にあたり、保育所が提供するサービスについて、保護者等にわかりやすく説明を行っている。				
	c 入所にあたり、保育所が提供するサービスについて、保護者等に説明を行っていない。				

IV 子どもの発達援助

IV-1 子どもの発達援助の基本

NO.	評価基準	評価結果	根拠となった資料名	評価の根拠	園の特徴
[34]	保育課程が、保育の理念や方針などに基づき、さらに地域の実態や子どもや家庭の状況等を考慮して編成されている。	a	保育課程 ヒアリング	保育課程は、園の理念や基本方針に基づいて編成されている。併設する子育て支援センターの事業を通じ、地域の子育てニーズの把握に努めたり、懇談会やアンケートを通じて、保護者の意向を把握している。	
総合判断基準	a 保育課程が、保育の理念や方針などに基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。				
	b 保育課程が、保育の理念や方針などに基づいて編成されているが、地域の実態や保護者の意向等は考慮されていない。				
	c 保育課程が、保育の理念や方針などに基づいていない。				
[35]	保育課程の評価を定期的に行い、その結果に基づき、保育課程を改善している。	a	ヒアリング 保育課程	保育の理念、保育の方針に基づき、保育課程が編成されている。毎月、定期的に指導計画の見直しを行っており、その結果を「保育の質向上委員会」で検討するなど、改善に結び付けていく体制が整備されている。	保護者からの要請（個別懇談会での声）を受け、毎月の指導計画を保護者に配付している。
総合判断基準	a 定期的に保育課程の評価を行い、その結果が次の保育課程に生かされている。				
	b 定期的に保育課程の評価を行っているが、その結果が次の保育課程に生かされていない。				
	c 定期的に保育課程の評価を行っていない。				

NO.	評価基準	評価結果	根拠となった資料名	評価の根拠	園の特徴
[36]	一人一人の子どもの発達過程に配慮した指導計画となっている。	a	指導計画 発達経過記録 ヒアリング	保育課程、保育方針に基づき、長期、短期の指導計画を作成している。個々の育ちへの配慮は、3歳未満児では個別の指導計画が作成されている。3歳以上児については個別の発達経過記録が毎月作成され、その中で課題や子どもへの対応の方針が記述されている。	
	a 一人一人の子どもの発達過程に応じた指導計画となっている。				
	b 子どもの発達過程に応じているが、一人一人に配慮した指導計画となっていない。				
	c 子どもの発達過程に応じた指導計画となっていない。				
[37]	指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	a	ヒアリング クラス会議録 ヒアリング	指導計画は、個別の経過記録と密接に関連づけながら立案されている。また、定期的に見直しが行われており、保育者の自己評価・反省をもとに次の計画の作成に生かしている。	
	a 定期的に指導計画の評価を行い、その結果が次の指導計画に生かされている。				
	b 定期的に指導計画の評価を行っているが、その結果が指導計画に生かされていない。				
	c 定期的に指導計画の評価を行っていない。				

IV-2 健康管理・食事

NO.	評価基準	評価結果	根拠となった資料名	評価の根拠	園の特徴
[38]	登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人一人の発育・発達状況、健康状態に応じて実施している。	a	健康管理に関するマニュアル ヒアリング	独自に作成したマニュアルに基づき、機嫌、動き、表情、睡眠前後の様子、排泄物などを総合的に観察し、一人ひとりの健康管理に配慮している。	
	a 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人一人健康状態に応じて実施している。				
	b 健康管理は、マニュアルなどはないが子ども一人一人の健康状態に応じて実施している。				
	c 健康管理は、子ども一人一人の健康状態に応じて実施していない。				

NO.	評価基準	評価結果	根拠となった資料名	評価の根拠	園の特徴
[39]	健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a	マニュアル ヒアリング	診断の結果は、その日のうちに、保護者に連絡している。結果は、マニュアルに基づきPCに入力され、職員が共通理解できるよう一元的に管理されている。病後の登園時には、保護者や子どものプライバシーに配慮した言葉かけを心がけるなど、丁寧な対応を行っている。	
総合判断基準	a 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、保育に反映させている。				
	b 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達しているが、保育に反映させていない。				
	c 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達していない。	a	感染症対応マニュアル ヒアリング	感染症マニュアルがあり、全職員が情報を共有できる仕組みが整っている。保護者へは、その都度掲示をして周知している。	
[40]	感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に周知している。				
総合判断基準	a 感染症発生時に対応できるマニュアルなどがあり、発生状況を保護者、全職員に周知している。				
	b 感染症発生時に対応できるマニュアルなどはないが、発生状況を保護者、全職員に周知している。				
	c 感染症発生時に対応できるマニュアルなどもなく、保護者、全職員に周知していない。				

NO.	評価基準	評価結果	根拠となった資料名	評価の根拠	園の特徴
[41]	食事を楽しむことができる工夫をしている。				
総合判断基準	a 食事を楽しむことができる工夫をしている。	a	食育計画 献立表 食の向上委員会議事録 入園のしおり 観察 ヒアリング	食の向上委員会が実態を把握し、改善する仕組みが整っている。子どもが栽培した野菜を食べたり、調理体験を5歳児がしたりするなど、子どもが食に興味を持つよう、園全体で取り組んでいる。	栄養士と保育士が連携して食育を推進するための委員会が組織されている。
	b どちらかといえば工夫をしている。				
	c 工夫をしていない。				
判断基準	ア 食事をする部屋としての雰囲気づくりに配慮している。	○	観察	食材を壁面に飾ったり、年少児の部屋に年少児が描いた素材の絵を貼るなど、工夫をしている。	
	イ 子どもが食べ物に関心を持つよう工夫している。	○	観察 献立表 食育計画	食育計画をもとに、子どもの調理体験や季節・行事食の実施、サンプル食の表示などの取り組みを行っている。	
	ウ 個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。	○	観察 ヒアリング	量はやや少なめにし、食事の途中で問いかけたり、表情・態度を読み取り、食欲に応じ対応している。	
	エ 子どもの負担になるほどに、残さず食べることを強制したり、偏食を直そうと叱ったりしていない。	○	観察	子どもの意思を尊重することを基本に、個々の子どもの食欲や体調に配慮している。	
	オ 子どもが落ち着いて食事を楽しめるように工夫をしている。	○	観察	保育者がそばにいて、静かに声をかけるなどの配慮をしている。	
	カ 時には戸外で食べるなど、様々な食事のスタイルの工夫がある。	○	食育計画 献立表 ヒアリング	お花見などには園庭で食事をする。各クラス、グループごとに、テラスで食事をすることもあ	
	キ 子どもが育てた野菜などを料理して食べることがある。	○	観察 食育計画 ヒアリング	子どもが水栽培で育てたねぎを、味噌汁の具にししたりしている。	
	ク 子どもが配膳や後片づけなどに参加できるよう配慮している。	○	観察 入園のしおり「あゆみの保育」	2歳児以上のクラスにおいては、年齢に応じた手伝いをしている。	
	調理作業をしている場面を子どもたちが見かけたり、言葉を交わしたりできるような工夫を行っている。	○	ヒアリング 食の向上委員会議事録	調理室の窓が高く、子どもが調理の場面を見ることはできないが、調理室前の机に食事を並べるなど、子どもが興味を持つような工夫をしている。	

NO.	評価基準	評価結果	根拠となった資料名	評価の根拠	園の特徴
[42]	子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に生かしている。	a	給食会議記録 観察 献立表 食育計画 離乳食進行届 ヒアリング 検食日誌	検食日誌に、保育士と栄養士がその都度記録しており、給食会議において記録の分析と対応を検討している。また行事食や手作りおやつも積極的に取り入れ、子どもの興味に応じて、食材をメニューに加えるなどの工夫がなされている。	
総合判断基準	a 十分に対応している。				
	b どちらかといえば対応している。				
	c 対応していない。				
判断基準	ア 子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。	○	給食会議記録 食欲調査	給食会議などで、子どもの様子や喫食状況から好き嫌いや量について分析している。	
	イ 残食の調査記録や検食簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映させている。	○	給食会議記録 検食日誌	検食日誌に、検食者と栄養士のコメントを書き、次回の調理に反映させている。	
	ウ 食事の献立については、旬の物や季節感のある食材を活かし、行事食なども随時取り入れている。	○	献立表	誕生会、秋の味覚ランチ、運動会ランチなど行事や季節感のある食事が提供されている。	
	エ 食器の材質や形などに配慮している。	○	観察 ヒアリング	食器の重さや材質に配慮するとともに、取りやすい形状の食器を用意している。	
	オ おやつは、できる限り手作りを心がけている。	○	献立表 ヒアリング	週に2～3回、手作りのおやつが用意されている。	
	カ 栄養士や調理担当者が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。	○	観察 給食会議記録	栄養士が配膳を補助したり、子どもから話を聞いたりして、献立を工夫している。	
	キ 子ども一人一人の発育状況や体調を考慮した、調理の工夫がなされている。	○	離乳食進行届 給食会議記録	保護者からの離乳食進行届に基づき、会議で話し合っている。	

NO.	評価基準	評価結果	根拠となった資料名	評価の根拠	園の特徴
[43]	子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携して食育を推進している。				
総合判断基準	a 積極的に推進している。	a	食育計画 食の向上委員会議事録 ヒアリング アレルギー除去食届 除去食届 入園のしおり	食の向上委員会において、食育計画の作成と評価・反省が行われている。また、保育の計画と関連させながら、行事食や栽培等の活動を積極的に行っている。	
	b 推進している。				
	c あまり推進していない。				
判断基準	ア 食育の計画を作成し保育の計画に位置付けている。	○	食育計画表	食育計画表に基いた保育の計画が作成されている。	
	イ 食育の計画の評価を行い改善に努めている。	○	食の向上委員会議事録	委員会において、計画及び実践の評価・反省が行われている。	
	ウ 家庭での食事の状況を把握している。	○	食の向上委員会議事録	委員会が、2月～3月に調査を実施し、次年度に活用している。	
	エ 家庭と連携した取り組みを行っている。	○	入園のしおり「あゆみの保育」	しおりで、食育の考え方やサンプル表示について説明し、連携する方針を示している。	
[44]	子ども(アレルギー疾患をもつ子ども、障害のある子どもなど)一人一人の健康状態に応じた食事の提供を行っている。				
総合判断基準	a 嘱託医等の専門的な指示を受けて、適切に対応している。	a	アレルギー除去食届 除去食届 入園のしおり「あゆみの保育」 ヒアリング	アレルギーによる除去食を提供する場合は、医師の診断に基づき、「アレルギー除去食届」を提出している。また、宗教、民族等により食べることができない場合は、定期的に保護者から「除去食届」を提出している。	
	b 専門的な指示を受けているが、適切に対応しているとはいえない。				
	c 専門的な指示がなく、保護者の依頼や職員の判断のみで対応している。				

IV-3 保育環境

NO.	評価基準	評価結果	根拠となった資料名	評価の根拠	園の特徴
[45]	子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	観察 ヒアリング 環境マニュアル	危機管理委員会や保健・環境委員会が中心となって、安全、保健的な環境づくりに取り組んでいる。	
総合判断基準	a よく整備されている。				
	b どちらかといえば整備されている。				
	c 整備されていない。				
判断基準	ア 採光に配慮している。	○	観察	明るく、間取りに工夫が見られる。	
	イ 通風、換気に配慮している。	○	観察	通風、換気だけでなく、空気清浄機も設置されている。	
	ウ 各部屋に湿温計などがあり、温度・湿度に配慮している。	○	観察 ヒアリング	各部屋に湿温計が設置され、保育士が確認しながら対応している。	
	エ 設備の管理や清掃が十分に行われ、屋内・外とも清潔に保たれている。	○	観察	屋内外ともにきれいに掃除されており、清潔に保たれている。	
	手洗い場、トイレは、子どもが利用しやすい設備が用意され、安全への工夫がなされている。	○	観察	年齢に応じた設備への配慮が見られ、死角がないよう扉の工夫もなされている。	
	カ 寝具の消毒や乾燥を定期的に行っている。	○	ヒアリング 各種環境マニュアル	園と家庭で、それぞれ月4回実施している。	
	キ 屋外の砂場や遊具の衛生面に配慮している。	○	観察 ヒアリング	砂場や遊具の消毒が定期的に行われており、衛生的である。	
	ク 子どもの安全確保のために施設整備・遊具を定期的に点検している。	○	観察 チェックリスト ヒアリング	危機管理委員会が、毎月安全チェックをしている。	

NO.	評価基準	評価結果	根拠となった資料名	評価の根拠	園の特徴
[46]	生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。	a	観察 ヒアリング	屋内は、落ち着いて生活できるように配慮されている。屋外は自然に恵まれ、十分に活動ができる空間が確保されている。	
総合判断基準	a よい取り組みが行われている。				
b どちらかといえば取り組みが行われている。					
	c 取り組みが行われていない。				
判断基準	ア 子どもが不安になった時などにいつでも応じられるように、保育者が身近にいる。	○	観察	子どもが泣き出すなど不安になった時は、近くにいる保育士が声をかけたり、抱いたりしている。	
	イ 一人一人の子どもがくつろいだり落ち着ける場所がある。	○	観察	畳やマット、カーペットを敷いた場所があり、落ち着いて活動できるように配慮されている。	
	ウ 眠くなったときに安心して眠ることができる空間が確保されている。	○	観察 ヒアリング	3歳未満児の部屋には午睡室が用意されており、午睡ができる畳のスペースがある。3歳以上児は、事務室で休息できるようにになっている。	
	エ 自然物を取り入れるなど、季節にあわせた保育環境が工夫されている。	○	観察	自然物をたくさん活用した製作物が飾られている。散歩等を通して季節感が感じられる工夫がなされている。	
	オ 配色に配慮した保育室となっている。	○	観察	全体として明るい室内となっており、壁面も配色に配慮されている。	
	カ 音楽や保育者の声が不必要に大きくならないよう配慮している。	○	観察	大きな音楽が流れることはなく、保育士の声は穏やかで、落ち着いて話をしている。	
	キ 庭など屋外での活動の場が確保されている。	○	観察	遊具、オープンスペースが十分に確保され、自然も多い。	

IV-4 保育内容

NO.	評価基準	評価結果	根拠となった資料名	評価の根拠	園の特徴
[47]	子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	a	観察 ヒアリング	子どもが自ら環境とかかわることができるようにコーナーを設置し、年齢に応じた玩具や遊具が配置されている。保育者の対応も、子どもの自発性を尊重しようとする姿勢が見られる。	
総合判断基準	a よく整備されている。				
	b どちらかといえば整備されている。				
	c 整備されていない。				
判断基準	ア 子どもの発達段階に即した玩具や遊具などが用意されている。	○	観察 ヒアリング	低年齢児には全身を動かして遊ぶ手作りの遊具、3歳児以上ではごっこ遊びやブロックなどの遊具が用意されている。	
	イ 子どもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるように工夫されている。	○	観察	棚が、子どもが見やすく手に取りやすい場所に設置されている。	
	ウ 好きな遊びができるコーナーが用意されている。	○	観察	ごっこ遊びのコーナーや製作用の机が用意され、落ち着いて活動できる場がある。	
	エ 子どもが自由に遊べる時間が確保されている。	○	観察	登園後、降園前や昼食前に、子どもが自由に遊ぶ時間が確保されている。	
	オ 保育者は、子どもが自発性を発揮できるような働きかけをしている。	○	観察	自由に遊ぶ場面で、子どもが自ら行うことを見守りながら、必要に応じて声をかけている。	

NO.	評価基準	評価結果	根拠となった資料名	評価の根拠	園の特徴
[48]	子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している。	a	観察 ヒアリング	受容と尊重という保育方針のもとに、子どもの権利や互いに尊重しようとする心の育成についての配慮がなされている。	
総合判断基準	a よく配慮されている。				
	b どちらかといえば配慮されている。				
	c 配慮されていない。				
判断基準	子どもが、自分の意見を保育者などの大人アにはっきり言うことができるよう配慮している。	○	ヒアリング	子どもの発言を受け止め、大人に親しみを持って話すよう配慮している。	
	子どもが、他の子どもの気持ちや発言を受け入れられるよう配慮している。	○	観察	子ども同士のトラブルの時に、相互の気持ちを受け止めながら、保育士が子どもに相手の思いを伝えている。	
	一人一人の子どもの生活習慣や文化、考え方などの違いを知り、それを尊重する心を育てよう努めている。	○	ヒアリング	入園時の面談で個々の状況を確認し、一人一人に応じた生活習慣などに配慮している。	
	子どもの人権への配慮や互いを尊重する心を育てるための具体的な取り組みを行っている。	○	ヒアリング	キリスト教保育の考えに基づき、保育者の姿勢を通して、思いやりの心を育てている。	
	子どもの人権や文化の違い、互いに尊重する心について、保護者にも理解してもらうような取り組みを行っている。	○	ヒアリング	入園・進級式で障害児の保護者の了解を得て、たがいに育ちあうことを伝えている。	
	子どもの権利擁護に関する研修等に職員が参加している。	○	ヒアリング	人権擁護週間に、研修やフェスティバルに参加している。	
	性差などによる固定的な観念や役割分担意識を植え付けないよう配慮している。	○	ヒアリング	劇遊びにおいて、性差により配役を決め付けないよう配慮している。	

NO.	評価基準	評価結果	根拠となった資料名	評価の根拠	園の特徴
[49]	子ども一人一人への理解を深め、受容しようと努めている。	a	保育課程 観察 ヒアリング	保育課程に、保育の方針として受容と尊重の精神が明記されている。子どもの声に耳を傾け、クラス全体で理解しあうよう努めている。	
総合判断基準	a 子どもをよく受容しようと努めている。				
	b どちらかといえば子どもを受容しようと努めている。				
	c 子どもを受容しようと努めていない。				
判断基準	ア 子どもに分かりやすい温かな言葉づかいで、おだやかに話している。	○	観察	衣服の着脱や、製作などの場面で、おだやかに話す姿が見られた。	
	イ 「早くしなさい」とせかさす言葉や「ダメ」「いけません」など制止する言葉を不必要に用いないようにしている。	○	観察	子どもに自然なかたちで伝わるように配慮している。	
	ウ 子どもの質問に対して、「待ってて」「あとで」などと言わずに、なるべくその場で対応している。	○	観察	子どもの気持ちを受け止めながら対応している。	
	エ 「できない」「やって」などと言ってくる子どもに対して、その都度気持ちを受け止めて対応している。	○	観察	子どもの気持ちを受け止めながら対応している。	
	オ 「いや」などと駄々をこねたり、自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。	○	観察	子どもを抱いたり、寄り添いながら、丁寧に対応する姿が見られる。	
	カ 登所時に泣く子どもに対して、放っておいたり、叱ったりするのではなく、子どもの状況に応じて、抱いたり、やさしく声をかけたりしている。	○	観察	子どもの気持ちを受け止めながら、個々の子どもに応じた対応をしている。	

NO.	評価基準	評価結果	根拠となった資料名	評価の根拠	園の特徴
[50]	基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人一人の子どもの状況に応じて対応している。	a	観察 ヒアリング	保育士は子ども一人ひとりの状況に応じて、やさしく丁寧に対応しており、個別の生活リズムによく配慮している。	
総合判断基準	a 一人一人の子どもの状況に応じてよく対応している。				
	b どちらかといえば対応している。				
	c 対応していない。				
判断基準	トイレに行くことをせかしたり、強制したりせず、一人一人のリズムに合わせるようにしている。	○	観察	子どもがトイレに行きたいときに行く姿や、個々の状況に合わせておむつ交換をする姿が見られた。	
	おもらしをしたときに、その都度やさしく対応し、子どもの心を傷つけないよう配慮している。	○	観察	保育者がやさしく声をかけながら対応している。	
	衣服の脱ぎ着に際して、せかしたり、着せてしまったりしないで、自分でやろうとする子どもの気持ちを大切にしている。	○	観察	保育士は落ち着いて対応しており、自分でできるように援助している。	
	子どもが自分で着脱しやすいように、衣類の整理の仕方や着方の援助について工夫している。	○	観察	自分で脱ぎ着ができるように促している。	
	休憩時には、子守唄を歌ったり、背中を軽くたたくなど、安心して心地よい眠りにつけるように配慮している。	○	観察	個々の子どもの状況を把握し、安心して眠れるように対応している。	
	休憩時間以外でも、一人一人の状況に応じて、眠らせたり、身体を休ませるようにさせたりしている。	○	観察 ヒアリング	3歳未満児の各保育室には、午睡室が用意されている。3歳以上児は、事務室で休息をとる。	
	キ 休憩時間に、眠くない子どもへの配慮をしている。	○	観察 ヒアリング	静かな遊びをするようにしている。	

NO.	評価基準	評価結果	根拠となった資料名	評価の根拠	園の特徴
[51]	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	a	観察 保育課程 指導計画	子どもたちには、同年齢の子ども及び異年齢、さらには学童の子どもとかかわるなど、さまざまな人間関係を経験する機会がある。保育士は子どもの人間関係が育つよう、それぞれの場面に応じた援助を行っている。	子育て支援センターが併設されており、未就園児や学童とのかかわりが事前に計画として立てられ、実践されている。
総合判断基準	a よく配慮されている。				
	b どちらかといえば配慮されている。				
	c 配慮されていない。				
判断基準	ア 子ども同士の関係をよりよくするような適切な配慮をしている。	○	観察	遊びの中で、協力したり応援したりすることなどを促すよう、声をかけている。	
	イ 子ども同士の主張がぶつかり合う場面では、危険のないように注意しながら、子どもたち同士で解決するように援助している。	○	観察	遊びの中でトラブルが起きた時、子どもにルールを説明しながら、互いに楽しく遊ぶためにはどうすればよいかを問いかけ、考えるように促している。	
	ウ 順番を守るなど、きまりの大切さに気づき、守ろうとするように援助している。	○	観察	遊びの場面で、ルールを守るよう声をかけたり、遊具の遊び方を説明したりしている。	
	エ 仲間での協同遊びを通して、自分の役割を果たせるように配慮している。	○	観察	年齢に応じて、子ども同士が協力して活動している。	
	オ 当番活動など子どもが役割を果たせるような取り組みが行われている。	○	観察	成長に応じた役割を子どもが担うことができるように、配慮している。	
	カ 異年齢の子どもが互いに触れ合い、関心を持つように援助している。	○	観察	登園後や降園時には、異年齢で活動する場面がある。学童保育との交流もある。	

NO.	評価基準	評価結果	根拠となった資料名	評価の根拠	園の特徴
[52]	身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている。	a	入園のしおり「あゆみの保育」 観察 指導計画	園児は園庭で栽培をしたり収穫したりすることができる。地域社会との交流の機会も設けられており、行事の機会を含め、子どもが身近な社会や文化に触れることができるように配慮されている。	
総合判断基準	a よく取り組みがなされている。				
	b どちらかといえば取り組みがなされている。				
	c 取り組みがなされていない。				
判断基準	ア 子どもが動植物等に身近に接する機会をつくっている。	○	観察	野菜作りをした時の絵や収穫物、収穫した柿が廊下や保育室に飾られている。	
	イ 庭や散歩で拾ってきた葉や木の実など、季節感のある素材を利用している。	○	観察	ドングリなど自然物を活用して製作をしている。	
	ウ 散歩や行事などで地域の人たちに接する機会をつくっている。	○	入園のしおり「あゆみの保育」年間予定表	散歩や遠足などで、地域の人と接する機会を作っている。	
	エ 地域の公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。	○	ヒアリング	近所のスーパーマーケットなどを訪問し、買い物体験をするなど、社会体験の機会を提供している。	
	オ 季節や時期、子どもの興味を考慮して、生活に変化や潤いを与える日本の伝統的な行事などを日常保育の中に取り入れている。	○	入園のしおり「あゆみの保育」年間予定表	クリスマス、七夕祭り、ひな祭り、餅つきなど、季節に応じた行事や活動がある。	

NO.	評価基準	評価結果	根拠となった資料名	評価の根拠	園の特徴
[53]	さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	a	観察	子どもたちは自分の表現したいことを思い思いに行い、保育士はその思いを受け止めながら、楽しく表現できるようにしている。	
総合判断基準	a よく配慮されている。				
b どちらかといえば配慮されている。					
	c 配慮されていない。				
判断基準	身近なものに直接接触して、驚いたり不思議に思うなど、感動する経験が広がるように配慮している。	○	観察	野菜などを収穫した体験をもとに、絵や粘土の製作をしている。	
	子どもがイメージしたものを歌ったり、身体を動かしたりなど自由にできるよう配慮している。	○	観察	音楽に合わせて、子どもが身体を動かしたり、動物になりきったりして遊んでいる。	
	子どもが様々な音楽に触れ、興味や関心にウ応じて自分で音をつくりだしたり楽器を楽しむよう配慮している。	○	観察	手作り楽器を使って、子どもが音を鳴らして遊んでいる。	
	子どもが自分で考えたり、イメージしたりしたもの思い思いに作って楽しめるよう配慮している。	○	観察	子どもが粘土を使って、お菓子やキャラクターを思い思いに作ることを楽しんでいる。	
	子どもの表現したものを保育に生かしたり、生活に取り入れたり、大切に扱うようにしている。	○	観察	年長児のドングリを使った作品が、玄関に飾られている。	
	子どものイメージを、動きや言葉で表現したり演じたりすることを楽しむことができるよう配慮している。	○	観察	音に合わせて手足を動かしたり、動物になりきったりしている。	
	絵本の読み聞かせや紙芝居などを積極的に取り入れて、想像力や言葉に対する感覚を育てるようにしている。	○	観察	エプロンシアターや、絵本を読む機会を積極的に取り入れている。	
	表現しようとする気持ちを大切に、特定の技能の習得に偏らないように配慮している。	○	観察	保育士は、子どもの作ろうとする気持ちを受け止め、特定の技術の習得に偏らないように配慮している。	

NO.	評価基準	評価結果	根拠となった資料名	評価の根拠	園の特徴
[54]	乳児保育のための環境・体制が整備されている。	a	観察 ヒアリング 育児ノート SIDSチェック表	安全で衛生的な生活ができるように、環境が整えられ、それを活用しながら保育をする体制が作られている。職員が協力をして、また家庭と連携を取りながら、子どもへのよい対応をしようとする姿が見られる。	
総合判断基準	a よく整備されている。				
	b どちらかといえば整備されている。				
	c 整備されていない。				
判断基準	ア 乳児の生活や遊びの場が衛生面に十分配慮された環境となっている。	○	観察 ヒアリング	遊具については、消毒液と日光消毒を毎日行う等、衛生面に配慮している。	
	イ 保育士が手洗い等衛生面への配慮を十分に行っている。	○	観察	給食時に、アルコール消毒やトイレで使い捨てタオルを使用するなど、配慮が見られる。	
	ウ 特定の保育者との継続的な関わりが保てるよう配慮している。	○	観察	担当保育士が決められており、継続的なかわりをしている。	
	エ 全職員にSIDSに関する必要な知識が周知されている。	○	研修資料 ポスター マニュアル	対応マニュアルがあり、資料の回覧やポスターの掲示をしている。入園のしおりにも記載されている。	
	オ SIDSを防止するための具体的な取り組みを行っている。	○	SIDSチェック表	2歳児までは、午睡時に定期的に呼吸確認を行っている。	
	カ 家庭との連携が十分に図られている。	○	観察 育児ノート	保育士は、保護者と家庭での様子をよく話している。育児ノートで、情報交換もしている。	
	キ 職員の連携が十分に図られている。	○	観察	場を離れる時には、必ず声を掛け合い、役割分担を明確にして保育をしている。	
	ク 嘱託医等との連携が十分に図られている。	○	ヒアリング	病気への対応や衛生管理について、アドバイスを受けている。	

NO.	評価基準	評価結果	根拠となった資料名	評価の根拠	園の特徴
[55]	乳児保育の内容や方法に配慮がみられる。				
総合判断基準	a 乳児保育の内容や方法によく配慮している。	a	観察 入園のしおり「あゆみの保育」 ヒアリング 離乳食進行届 デイリープログラム 指導計画	保育士は、発達に応じた手作り遊具や生活環境を整え、やさしく丁寧に対応している。食事や排泄、睡眠等は、家庭と連携を取りながら、個々の子どもの状況に応じた取り組みをしている。	
	b 乳児保育の内容や方法にどちらかといえば配慮している。				
	c 乳児保育の内容や方法に配慮していない。				
判断基準	授乳は、子どもが欲しがる時に、抱いて目をあわせたり、微笑みかけたりしながらゆったりと飲ませている。	○	ヒアリング	一人一人の子どもの生活リズムに合わせて、落ち着ける場所でゆったりと行っている。	
	離乳食については、家庭と連携をとりながら、一人一人の子どもの状況に配慮して行っている。	○	離乳食進行届	家庭から離乳食進行届を提出してもらい、それに基づき実施している。	
	おむつ交換時は、やさしく声をかけたり、スキンシップをとりながら行っている。	○	観察	スキンシップをとりながら、やさしく声をかけて交換している。	
	一人一人の生活リズムに合わせて睡眠をとることができるように、静かな空間が確保されている。	○	観察	睡眠用のスペースが乳児室に隣接して設けられ、静かに眠ることができる。	
	外気に触れたり、戸外遊びを行う機会を設けている。	○	デイリープログラム 指導計画	戸外に出る機会を設けている。	
	喃語には、ゆったりとやさしく応えている。	○	観察	保育士がやさしく言葉をかけている。	
	顔を見合ってあやしたり、乳児とのやり取りや触れ合い遊びを行っている。	○	観察	スキンシップをとって遊んでいる。	
	たて抱き、腹這いなど、子どもの姿勢を変えている。	○	ヒアリング	手作り遊具を使い、遊びながらいろいろな姿勢に自然となるようにしたり、保育士が抱き方を変えたりする配慮が見られる。	

NO.	評価基準	評価結果	根拠となった資料名	評価の根拠	園の特徴
[56]	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a	観察 申し送りノート 献立表 ヒアリング	くつろいだ雰囲気の中で、落ち着いた生活ができるように配慮されている。また、職員同士や家庭と連携を図るために必要な仕組みが作られている。	
総合判断基準	a よく配慮されている。				
	b どちらかといえば配慮されている。				
	c 配慮されていない。				
判断基準	ア 家庭的な雰囲気が感じられる。	○	観察 ヒアリング	家庭的な雰囲気作りに努めている。	
	イ 畳やじゅうたん、ソファなど寝転んだり、くつろいだりできる環境、個人個人で遊ぶことができる遊具などがある。	○	観察	畳やカーペットが用意されており、子どもが寝ころぶなど、くつろいでいる。	
	ウ 家庭との連携のもとに子どもの食事に配慮している。	○	ヒアリング	おにぎり程度の軽食を提供し、家庭での食事の妨げにならないように配慮している。	
	エ 献立表にその日の夕食や軽食の内容が明記されている。	—	献立表 ヒアリング	献立表の末尾に、日替わりでおにぎりやパンが用意されることが記載されているが、毎日の献立としては示されていない。	
	オ 一人一人の子どもの要求に応じて、抱いたり、声をかけるなど、ゆったりと接している。	○	観察	子どもの要求に応じて抱いたりするなど、配慮が見られる。	
	カ 異年齢の子ども同士で遊べるように配慮されている。	○	観察 ヒアリング	異年齢の子ども同士が遊べるような配慮が見られる。	
	キ 子どもの状況について、職員間の引継ぎを適切に行っている。	○	申し送りノート ヒアリング	申し送りノートに保護者への伝達事項が記入され、翌日その結果が担任に伝わるような仕組みになっている。	
	ク 保護者との連携を密にして、子どもの生活リズムに配慮している。	○	観察	降園時にその日の様子を伝え、保護者からも情報を得ている。	

NO.	評価基準	評価結果	根拠となった資料名	評価の根拠	園の特徴
[57]	障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a	ヒアリング すこやか保育対象児 年間指導計画 発達経過記録 会議記録 観察	個別の年間指導計画を立案し、子どもの発達や障害の特性に応じた保育を行うとともに、家庭や専門機関との連携がとられている。	
総合判断基準	a よく配慮されている。				
	b どちらかといえば配慮されている。				
	c 配慮されていない。				
判断基準	ア 障害のない子どもの障害児への関わりに対して配慮している。	○	ヒアリング	子どもの状況や成長に応じて、クラス編成などに配慮している。	
	イ 建物、設備はバリアフリー等適切な環境への配慮がみられる。	—	観察 ヒアリング	玄関前のエントランスなどにはスロープがあるが、1階から2階へは階段があり、バリアフリーとなっていない。	保護者と話し合い理解を得て保育を行っている。階段は職員が介助するなど工夫をしている。
	ウ 障害児の特性に合わせた園での生活の仕方の計画が立てられている。	○	すこやか保育対象児 年間指導計画	個別の年間指導計画や発達経過記録が作成されている。	
	エ 障害児保育について保育所全体で定期的に話し合う機会を設けている。	○	会議記録	定期的に話し合いが行われている。	
	オ 障害児保育に携わる者は、障害児保育に関する研修を受けている。	○	研修記録	研修に参加し、その内容が記録されている。	
	カ 必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。	○	会議記録 ヒアリング	障害児が関係している専門機関の職員から、助言を受けている。	
	キ 保護者に障害児に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。	○	育児日誌 ヒアリング	育児日誌など個別のノートを活用するとともに、口頭でのやり取りをしている。	

V 子育て支援

V-1 入所児童の保護者の育児支援

NO.	評価基準	評価結果	根拠となった資料名	評価の根拠	園の特徴
[58]	子どもの保育と密接に関連した保護者支援を行い、相互理解を図っている。	a	育児日記 個別懇談会の案内 子育て相談カード 入園のしおり パンフレット ヒアリング	育児日記や連絡帳での日常の情報交換に加えて、送迎時に声をかけるなどの配慮をしている。相談・助言については、併設する子育て支援センターとともに専用の電話回線が用意され、相談内容が記録されている。保護者参観や懇談会、運動会等の行事で、保護者同士の交流を促している。	
	a 子どもの保育と密接に関連した保護者支援を行い、相互理解を図っている。				
	b 子どもの保育と密接に関連した保護者支援を行っているが、伝達と説明、信頼関係の構築等を通じた相互理解が図られていない。				
	c 子どもの保育と密接に関連した保護者支援や、相互理解が図られていない。				
[59]	保護者に育児不安等が見られる場合には、個別の支援を行うことができる体制が整備されている。	a	連絡帳 育児相談・連携マニュアル ヒアリング	保護者と、日常会話や連絡帳で連携する中で情報を収集している。担任からサポート保育士や園長などへの報告・相談の仕組みが整備され、月1回ケースワーカーと打ち合わせを行うなど、援助が組織的に行われている。	
	a 保護者に育児不安等が見られる場合には、個別の支援を行うことができる体制が整備されている。				
	b 保護者に育児不安等が見られる場合に、それに応じる体制が十分ではないが支援するよう努めている。				
	c 保護者に育児不安等が見られる場合に、個別の支援を行っていない。				
[60]	保護者に不適切な養育等が疑われる場合の支援に適切な対応が図られている。	a	虐待対応マニュアル 社会資源一覧表 個別の相談記録のノート ヒアリング	マニュアルが整備され、フローチャートで対応について定めてある。また、関係機関の連絡先も、一覧として用意されている。過去に連携しながら保護者に対応した事例がある。	
	a 虐待等不適切な養育を早期に発見することに努めており、疑わしい場合に児童相談所等に通告する体制が整っている。				
	b 虐待等不適切な養育を早期に発見することに努めているが、疑わしい場合に児童相談所等に通告する体制が整っていない。				
	c 虐待等不適切な養育を早期に発見することに努めていない。				

VI 安全・事故防止

VI-1 安全・事故防止

NO.	評価基準	評価結果	根拠となった資料名	評価の根拠	園の特徴
[61]	調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	a	ヒアリング 衛生管理マニュアル	マニュアルに基づき、衛生管理が適切に実施されている。	
	調理場、水周りなどの衛生管理はマニュアルがあり、常に清潔に保つなど適切に実施されている。				
	b 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルはあるが、適切に実施されていない。				
	c 調理場、水周りなどの衛生管理のためのマニュアルがない。				
[62]	食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている。	a	ヒアリング 食中毒対応マニュアル	食中毒発生時の対応について、「食の向上委員会」を中心に組織が整備され、必要に応じて各クラスへ注意喚起の呼びかけが行われるなど、全職員で意識の共有が図られている。	
	a 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員に周知されている。				
	b 食中毒等の発生時に対応できるマニュアルはあるが、全職員には周知されていない。				
	c 食中毒等に関するマニュアルがない。				
[63]	事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。	a	安全チェックリスト 危機管理委員会議事録 ヒヤリハット ヒヤリハット集計表 事故報告書 ヒアリング	安全チェックリストに基づき、保健環境委員会が中心となって事故防止に取り組んでいる。また、ヒヤリハットを年2回集計し、危機管理委員会を中心に検討している。委員会で検討したことは職員会議で報告され、全職員で共有している。	
	a 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。				
	b 事故防止のためのチェックリスト等はないが、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。				
	c 事故防止に向けた具体的な取り組みを行っていない。				

NO.	評価基準	評価結果	根拠となった資料名	評価の根拠	園の特徴
[64]	事故や災害に適切に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。				
総合判断基準	a 事故や災害に適切に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a	消防計画 避難訓練年間計画表、実施表 学童保育防災計画 ヒヤリハット記録 事故報告書 火災発生時対応マニュアル 地震発生時対応マニュアル 台風接近時対応マニュアル	各種計画・マニュアルが整備され、職員に配付され、共有されている。また、避難訓練では乳児と幼児に分けて、具体的にねらいと内容を定めて実施している。さらに訓練の評価反省を行って、マニュアルの徹底を図っている。	
	b 事故や災害に適切に対応できるマニュアルはあるが、全職員に周知されていない。				
	c 事故や災害に適切に対応できるマニュアルがない。				
[65]	不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。				
総合判断基準	a 不審者の侵入時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a	不審者侵入時対応マニュアル ヒアリング	マニュアルが用意され、訓練時には危機管理委員会が中心となり、事前のマニュアルの確認、事後の話し合い、マニュアルの検討を行っている。	
	b 不審者の侵入時に対応できるマニュアルはあるが、全職員に周知されていない。				
	c 不審者の侵入時に対応できるマニュアルがない。				

利用者アンケート集計結果

利用者アンケート集計

配布数	123	回収数	65	回収率	52.8%
-----	-----	-----	----	-----	-------

	回答数				%	
	はい	いいえ	無回答	有効回答数	はい	いいえ
(1) 入園した際に、保育の内容や方法について、園から十分な説明がありましたか。	65	0	0	65	100.0%	0.0%
(2) 入園した際に、保育園(所)の理念や方針について、園から十分な説明がありましたか。	61	4	0	65	93.8%	6.2%
(3) 入園した際に、保育にかかる諸経費について、園から十分な説明がありましたか。	52	13	0	65	80.0%	20.0%
(4) 保育園(所)やクラスでのお子さんの様子が、「園だより」、「クラスだより」等を通じて、わかりやすく伝えられていますか。	56	8	1	64	87.5%	12.5%
(5) 健康診断・歯科健診の結果について、園から伝えられていますか。	59	6	0	65	90.8%	9.2%
(6) 献立表やサンプル表示などで、毎日の食事とおやつの内容がわかるようになっていますか。	65	0	0	65	100.0%	0.0%
(7) お子さんの食事とおやつのお皿具合は、必要に応じて連絡されていますか。	59	6	0	65	90.8%	9.2%
(8) 園内で感染症が発生した際には、その状況について、必要に応じて連絡が届くようになっていますか。	60	5	0	65	92.3%	7.7%
(9) 災害・不審者侵入時など、お子さんの安全に関わる事態が発生した際には、その状況について、必要に応じて連絡が届くようになっていますか。	58	5	2	63	92.1%	7.9%
(10) 懇談会や保育参観・参加などにおいて、保護者が保育に参加する機会がありますか。	64	1	0	65	98.5%	1.5%
(11) 園の保育について、あなたの意見や意向を伝える方法または機会がありますか。	61	4	0	65	93.8%	6.2%
(12) 保護者からの苦情や意見に対して、園から十分な回答や説明がありますか(例：懇談会、園だより、掲示、口頭での説明など)。	56	8	1	64	87.5%	12.5%
(13) 園や家庭でのお子さんの様子について、日常的に保育士と情報交換がなされていますか(例：送迎時の会話、連絡帳)。	63	2	0	65	96.9%	3.1%
(14) 日常的な情報交換に加え、相談や個人面談の機会が設けられていますか。	50	15	0	65	76.9%	23.1%
(15) 困ったことや気になることがあった時に、保育園(所)に気軽に尋ねたり相談することができますか。	62	3	0	65	95.4%	4.6%
(16) 園生活全体を通して、お子さんは保育園(所)で楽しく過ごせていると思いますか。	65	0	0	65	100.0%	0.0%
(17) お子さんや家庭のことについて、園に相談した内容が、他の人に漏れていたというような経験がありますか。	1	63	1	64	1.6%	98.4%

	回答数						%			
	満足している	どちらかといえは満足している	どちらかといえは不満である	不満である	無回答	有効回答数	満足している	どちらかといえは満足している	どちらかといえは不満である	不満である
(1) 保育の内容や経費などについての、入園前の説明には満足していますか。	39	21	3	0	2	63	61.9%	33.3%	4.8%	0.0%
(2) 園舎や園庭など、施設・設備に満足していますか。	35	21	8	0	1	64	54.7%	32.8%	12.5%	0.0%
(3) 園がお子さんに提供している遊びに満足していますか。	49	14	1	0	1	64	76.6%	21.9%	1.6%	0.0%
(4) 保育園(所)での生活の中での友だちとの関係など、お子さんの人間関係の育ちに満足していますか。	47	15	1	0	2	63	74.6%	23.8%	1.6%	0.0%
(5) お子さんへの食事やおやつに満足していますか。	56	7	1	0	1	64	87.5%	10.9%	1.6%	0.0%
(6) 睡眠・排泄・衣服の着脱など、お子さんの生活面での配慮に満足していますか。	46	18	0	0	1	64	71.9%	28.1%	0.0%	0.0%
(7) 健診・健康状態の日常的な確認など、お子さんの健康管理体制に満足していますか。	54	10	0	0	1	64	84.4%	15.6%	0.0%	0.0%
(8) お子さんが園でケガをしたり、病気になったりした場合、園の対処の仕方に満足していますか。	49	14	1	0	1	64	76.6%	21.9%	1.6%	0.0%
(9) 施設・設備や生活場面での衛生管理体制に満足していますか。	48	15	1	0	1	64	75.0%	23.4%	1.6%	0.0%
(10) 災害・不審者侵入時の対応などの安全管理体制に満足していますか。	33	23	6	0	3	62	53.2%	37.1%	9.7%	0.0%
(11) お子さんや保護者への、保育者の姿勢や言動に満足していますか。	46	14	3	1	1	64	71.9%	21.9%	4.7%	1.6%
(12) 保育園(所)の職員のチームワークや雰囲気、満足していますか。	41	18	5	0	1	64	64.1%	28.1%	7.8%	0.0%